



登小っ子

<http://www.ishigaki.ed.jp/tonoshiro-s/htdocs/>



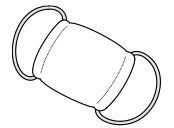
2020年(令和2年)
5月11日(月曜日) 5月
登野城小学校
学校だより

学校生活スタートにあたり保護者の皆様へ



<新型コロナウイルス対応へのお願い>

- 1 毎日、必ず検温し、「検温及び健康観察シート」への記入とサインをお願いします。
※検温をしていない児童は、教室には入れません。家庭で検温や「検温及び健康観察シート」を忘れた児童は、1階中央廊下で検温し、発熱していないことを確認してから、教室に入ります。
- 2 感染症予防のため、必ずマスクを着用してください。また、マスクには記名をお願いします。
※学校用の予備マスクも残りわずかです。マスクを忘れた児童へ配布することができませんので、ご家庭でご準備ください。
(全児童へ配付予定の布マスクが届いたら、すみやかに児童へ配付します。)



<年度始めのお願い>

1 朝の登校時間及び正門の開門時刻

本校では、子どもたちの安全な登校を保障するために、登校時間及び正門の開門時刻を下記のとおり設定しています。朝は、しっかりと朝食をとり、検温や忘れ物がないか確認し、ゆとりをもって登校できるよう、ご家庭のご指導をお願いします。

◇正門の開門時刻・・・7時30分 ◇登校時間・・・7時30分～8時15分



2 徒歩登下校(てくてく運動)の推進

本校では徒歩登下校を奨励することによって、児童の体力向上と送迎車両減少による安全確保を行います。また、徒歩登下校は「目的に向かって自分の足で歩いて行く」という子どもを育てることにもつながっていくと考えます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、児童の登下校の時間帯は、正門前の駐車や職員駐車場への車の乗り入れは、ご遠慮ください。

3 朝の交通安全指導・広報車による見守りパトロールへの参加・協力

毎月、朝の交通安全指導計画、広報車によるパトロール当番表にてお知らせがあります。保護者の皆様のご協力をお願いします。

◇朝の交通安全見守り時間 午前7時40分～8時10分

◇広報車による「見守りパトロール」 午後6時～7時



4 学校へのお土産や差し入れ等については、ご遠慮ください。

本校では、食物アレルギー等の対応のため、児童や保護者からのお土産(旅行等)や差し入れを遠慮しています。どうぞご理解をお願いします。

①旅行で買って来たお土産など ②学級・学年でのお楽しみ会やお別れ会等への差し入れ

③ハロウィン、クリスマス、バレンタインデー、ホワイトデー、卒業式のプレゼント

「新型コロナウイルス対応に係る休校日の振替授業日」について

新型コロナウイルス感染拡大並びに感染予防対策として、休校が続いておりましたが、石垣市教育委員会より通知があり、その振替授業日下記のとおりとなりましたのでお知らせします。今後の感染状況によっては、決定事項が変更となる場合もありますのでご理解ください。

振替授業日 ①令和2年7月21日(火)～7月31日(金)・・・7日間(給食あり)

②令和2年8月20日(木)～8月31日(月)・・・8日間(給食あり)

※グランドデザインとは登野城小学校の経営全体構想や特色などを1枚の図にしたものです。

令和2年度 石垣市立登野城小学校 グランドデザイン

「学校教育目標」と「重点目標」

学校教育目標

「自ら進んで学習し、
心豊かでたくましい登小っ子の育成」
【自ら学ぶ(知育)】 ○自ら進んで学習する子
【豊かな心(徳育)】 ○心豊かで思いやりのある子
【健やかな体(体育)】 ○たくましくねばり強い子

重点目標① 確かな学力

- 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる
- 課題解決に必要な思考力・判断力・表現力を育む
- 主体的に学習に取り組む態度や他者と協働する力を養う

重点目標② 豊かな人間性

- 豊かな心の育成や創造性の涵養を目指す
- 「特別な教科 道徳」を中心に道徳教育を充実する
- 体験活動を重視する

重点目標③ 健康・体力

- 健康で安全な生活ができる力を育む
- 豊かなスポーツライフに結び付く力を育む
- 食に関する教育を充実する



資質・能力の育成

何ができるようになるか
○学校教育の基本

何が身に付いたか
○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①課題を的確に分析・整理し、理解することができる。
- ②課題の解決に向けて他者と関わりながら、よりよい解決方法を見つけることができる。
- ③課題の解決に向けて主体的にねばり強く行動し、その結果を振り返ってまとめることができる。

- ①学習したことや体験したこと、学習活動等を比べたりつなげたりしている。
- ②自分の考えを持ち、先生や友達と学び合うことを通じて、課題解決の方法を見出している。
- ③状況が変化しても、主体的に判断し、自分の考えを広げたり認めたりしている。

子どもの実態

- 明るく、元気で、素直である。
- 規範意識が低い。
- 相手の立場に立って考えることが苦手である。
- あきらめずにねばり強く取り組むことが苦手な子が多い。

子どもの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子どもへの指導

- 多様な児童に対する客観的・総合的な児童理解(教育相談の充実、スクールカウンセラー等の活用)
- 職員間の情報共有及び外部機関との連携によるチーム支援(子ども支援会議、スクールカウンセラー等の活用)

めざす子どもの姿

- 学習に真剣に取り組み、自分の考えを深め、共に学ぶ姿勢がある子
- 他への思いやりがあり、きちんとしたあいさつや正しい言葉づかいができる子
- 学習や活動を振り返り、互いのよさを認め合い、感謝の言葉が言える子

何を学ぶか
○教育課程の編成

どのように学ぶか
○教育課程の実態

- ①教育活動全体を通じた「自分の考えを持ち、広げ、新たな問いへつなげる」学習活動
- ②教育活動の質の向上を図る「カリキュラムマネジメント」の推進
- ③石垣市スタンダードの保幼小中共通実践

- ①聞き方「あいいうえお」、話し方「かきくけこ」を基本とした学習活動
- ②自分の考えの足跡がわかる「ノートづくり」(さしすせそ)
- ③単元・授業デザインMAPIによる「単元を通してつきたい力」の明確化

実施するために何が
○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 校内研修の充実
- 教育相談担当を核としたSC、SSW、関係機関等との連携
- 学びの連続性を意識した保幼小中の連携

- 子どもと向き合う時間の確保
- いじめ、不登校をうまない学年・学級経営
- 家庭、地域との情報共有及び連携、協働

安心・安全を守る

- 教育活動全体における防災・安全対策
- 「自分の命は自分で守る」子どもの育成(防災・安全教育)
- よさを認め合い、安心して過ごせる教室・学校

開かれた学校づくり

- 地域の人材、教材を生かした学校づくり
- 分かち合い、話し合い、情報を共有できる環境
- ホームページや学校便り、学年・学級便り等による積極的な情報発信